

発行所

札幌市北区北15条西7丁目
北大医学部同窓会
TEL&FAX (011) 706-5007
E-mail: furate@med.hokudai.ac.jp
http://hokudai-med-dousou.com

編集人 田中 伸哉
発行人 浅香 正博

北大医学部同窓会新聞



「いにしえの小川」

えびな やすひこ
蝦名 康彦(66期)

CONTENTS

- (1) 北海道大学医学部創立100周年記念事業を終えて
(2) 第103期生を歓迎して
(3) 新世紀の医学に向けて(43)
(4) 北海道大学医学部創立100周年記念事業
(5) 100周年記念事業に関する最終報告
(6) ミッションは「USMLEのハードルを完全撤廃」
(7) 卓球部
(8) ご寄付の報告とお願い
(9) 新刊書紹介
(10) 北海道医学会からお知らせ

北海道大学医学部創立100周年記念事業を終えて



医学研究院長・
医学部長

はたけ やま
いげ つぐ
畠山 鎮次
(66期)

今年度を迎え、北海道大学医学部100周年
記念事業が無事終える運びとなりました。ま
ずは、北大医学部同窓生・教職員・学生・そ

してさまざまな関係者の皆様の多大なるご協
力に対しまして、御礼申し上げます。平成28
年に、笠原正典前医学研究科長と浅香正博同
窓会長のもとで、本事業が計画されました。
平成29年からは、吉岡充弘前医学研究院長
のもと、医学部百年記念館の建設、教育研究基
金の設立そして北大医学部100周年記念誌の
発行などの各事業が開始され、それらを支え
るために寄附活動が進められました。私は本
事業の中で医学部百年記念館の建設に協力さ
せていただき、たいへん感慨深い経験となり

ました。令和元年には医学部百年記念館の竣
工、本庶佑先生の記念講演会、そして医学部
創立100周年記念式典が盛大に行われました。
令和2年初頭から流行した新型コロナウイルス
感染による影響が出る前にこれらの事業を
終えることができたことを幸運に感じており
ます。令和3年には、北大医学部100周年記念
誌が上梓され、最後に教育研究基金の設立が
残されておりますが、現在本基金の運営内規
を作成し、できるだけ早く稼働させるよう準
備しております。今後、北大医学部の学生・

若手研究者の育成等に貢献する基金として機
能させていく所存でございます。最後に、北
海道大学医学部100周年記念事業にご協力い
ただきました多くの方々へ御礼を申し上げる
とともに、北大医学部の200周年にむけてさ
らに発展できるよう、頑張っております。



前医学研究院長・
医学部長

よし おか
みつ ひろ
吉岡 充弘
(60期)

2019年、北海道大学医学部が創立100周年
を迎えるにあたり、これまでの一世紀に渡る
歩みを振り返り、次の100年への大いなる発

展の契機とするため、実行委員会を立ち上げ、
医学部創立100周年記念事業を実施すること
としました。

実行委員会は「百年記念館建設」を最重点
事業として位置づけ、2019年10月8日に無事
落成式を迎えることができました。この百年
記念館は第23回木材活用コンクールで優秀賞
(一社)全国木材組合連合会会長賞)を受賞い
たしました。また、1億円を超える「教育研
究基金」を創設することができ、我々の使命
である「医学・医療の発展に貢献するリーダー

の育成」と「新たな知の創造」に資するもの
と期待しております。記念式典・祝賀会につ
きましては、「知の創造による新たな世紀へ挑
戦」をコンセプトとし、2019年10月12日に開
催いたしました。また、一世紀にわたる軌跡
を記載した記念誌の発行については、この記
念式典の模様も記載することから、2021年3
月の発行となりました。

これら以外にも、記念事業の一環として以
下の事業を行っております。
・2019年7月27日、ノーベル生理学・医学賞

受賞者の本庶佑特別教授記念講演会
・2019年10月7日、北海道新聞への全面広告
掲載
・2020年5月18日、大阪市立大学より寄贈さ
れた「ヒポクラテスの木」植樹祭
・記念グッズの制作と販売
医学部創立100周年記念事業遂行にあたり、
1,447件、555,270,877円のご寄付を賜り、成功
裏に終了することができました。改めて同窓
会会員の皆様のご支援に感謝申し上げます。



北海道大学医学部
同窓会会長

あさ か
まさ ひろ
浅香 正博
(48期)

2015年5月、北海道大学医学部創立100周年
記念事業実行委員会が立ち上がり、募金活動
や記念誌の発行などの企画が計画されました。

その中でも最大の事業は北海道大学医学部百
年記念館の建設でした。医学部同窓生が気楽
に集えて展示を見ながら昔を振り返ることの
できる場所はこれまでありませんでした。で
すから記念館新設は医学部同窓会にとって長
年の夢であったのです。わが国の歴史ある大
学の医学部には必ず傍らに記念館が存在して
いることから、北大医学部にもこの機会に是
非建設をとの声を挙がりました。そのために
はまず資金集めです。2016年4月より100周年
事業のための募金活動を開始いたしました。

当初、集まりが悪く事業が完遂できるかどう
かを心配した時期もありましたが、その後、
医学部と同窓会がともに100周年事業の重要
性について同窓生を中心に啓発を行った成果
が徐々に上がってきて、その結果、百年記念
館は2019年9月20日に完成し、10月8日に待望
の落成式を行うことができました。斬新なデ
ザインの北海道の木材を使用した木造作りの
建物は北海道大学のキャンパスに見事に溶け
込んでおり、2階には医学部の歴史を語る立
派なジオラマが設置されましたが、これは医

学部同窓会から記念館へ寄贈させていただい
たものです。2019年10月12日、京王プラザホ
テル札幌にて北大医学部創立100周年記念式
典が執り行われました。このように100周年
記念行事は滞りなく終了することができたこ
とで、同窓会長としては感無量の気持ちであ
りました。北海道大学医学部同窓会は気持ちを
新たに次の100年に向かって医学部ととも
に新たな出発をしたいと考えております。

第103期生を歓迎して

北海道大学医学部同窓会会長 **浅香 正博**(48期)



医学部103期の皆さん、ご入学おめでとうございます。北海道大学医学部同窓会は皆さんの入学を心より歓迎いたします。医学部同窓会は北海道大学医学部の創設後12年経過した1931年に発足し、現在7000名に近い数の会員から成り立っています。以前は、北大医学部を卒業してから同窓会に入ってもらったことになっており、50年以上にわたってそれが継続してまいりました。2014年4月より、医学部入学時に同窓会員になっ

てもらった新制度が導入されました。それまでは、医学部生は同窓会員でなかったため、医学部生に十分な支援ができておりませんでした。しかし、2014年から医学部入学と共に全員が同窓会員になったため、入学後、同窓会は医学部生のためにさまざまな支援の取り組みを行うことができるようになりました。具体的には、医学展の支援、教員との懇話会の支援、卒業時に記念品を授与することなどです。去年は新型コロナ

ウイルス感染症で学生生活が逼迫している学生に支援経費を援助いたしました。このように2014年以降、医学部生と同窓会の距離が急速に近くなってきたと思われます。

医師という職業は、患者と直接向かい合い個人情報を共有しながらその病気を治していくことを目的としています。患者の命を預かる重要な職業ゆえに、大きな義務も生じているのです。ノブレス・オブリージュ（高貴なるゆえの義務）の世界に否応なく入り込んでいくことになるのです。そのため医学部卒業と同時に山あり谷ありの他の分野から見ると起伏の多い人生を歩んでいくことになることが予想されます。人から感謝されることが実感できる医

師という職業はやりがいのある仕事です。それぞれが学生時代からしっかりした人生設計を立てて学生生活を送ってもらいたいと思います。

北海道大学医学部は2019年に創立100周年を迎え、記念行事が厳かに行われました。医学部同窓会の念願であった百年記念館も完成し、様々な展示物から北大医学部の歴史に触れることができるようになりました。100年という大きな節目を超えたことで北大医学部とともに皆さん方にとっても新しい飛躍につながることを期待しております。

北海道大学医学部同窓会は、入学された103期の皆さんに対し、同窓会をあげてできる限りの支援をいたしたいと考えております。

第103期生代表ご挨拶

河本 颯馬(103期)



この度第103期北海道大学医学部に入学させていただきました河本颯馬と申します。100年以上の歴史を持つこの大学で6年間勉強できることを大変うれしく思っております。

このものを参考にさせていただきましたが、どれも非常に高度な内容で僕には真似できそうになかったので自分なりの言葉で書こうと思います。

現在世界中で流行している新型コロナウイルスの影響で僕らの生活は以前

までのものとは全く別のものになりましたね。僕はもともとインドアもアウトドアも楽しめるタイプだったので僕なりの楽しみ方をしていきますが皆さんはどうですか？本を読んだりゲームをしたり、今までやったことなかった新たな趣味を見つけたりバイトを始めるなどいろいろあると思います。また、オンライン授業には慣れましたか？今まで学校に行って授業を受けるのが当たり前だったのにいきなり在宅で授業なんて混乱しますよね。僕はしました。

しかし、オンライン授業であることによって無駄な時間が削減されたり、いつでもどこでも授業が受けられるなどのメリットもあると思います。そのメリットを生かしながらともに頑張っていきましょう。

医学部は6年間あり、医学のことはもちろん、人との接し方や話の聞き方も学んでいく必要があります。常に学ぶ姿勢を忘れず、将来よい医師になりたいと思います。

令和3年4月 1年次入学者名簿(102名)

氏名	出身校	氏名	出身校	氏名	出身校	氏名	出身校	氏名	出身校	氏名	出身校
河本 颯馬	札幌南	右橋 拓実	高槻高校	吉岡 紘亮	東大寺学園高校	荒田 峻希	駒場東邦高校	伊達 渚	甲南高校	久保あまね	南山高校女子部
谷口 祐	福岡県立明善高校	佐藤 勝紀	私立武蔵高等学校	利木菜々花	立命館慶祥高校	石原 万愛	愛光高校	大守 能広	東大寺学園高校	永井 千尋	札幌南
平山 凌	筑波大学附属駒場高校	養田 優子	桜蔭高校	島田 訓宏	島田 訓宏	高見 侑亮	東京国立新宿学校	大谷 日菜	浦和明の星女子高等学校	岸本 開	昭栄薬科大学附属高校
小清水勇太	横浜翠嵐	森 卓哉	西大和学園高校	吉田 優太	須磨学園高校	五十嵐清明	果郷高校	千田光一朗	新潟明訓高校	高 文迪	千葉県立船橋高等学校
戸崎 響	東邦大学付属東邦高校	佐藤啓太郎	洛南高等学校	渡辺 翠	桜蔭高等学校	岩切菜々子	札幌南	岡村 駿	海城高校	西川 満彦	開成高等学校
福田 雄大	石川県立小松高校	向山 楓	札幌第一高校	下田 伊織	北嶺高校	但見 亮	広島学院	香川 早紀	豊岡女子学園高校	金也 仁	県立神戸高校
古閑亮太郎	市立札幌開成中等教育学校	矢島 勇希	長野高校	米沢 暢倫	札幌南	石金 宏大	札幌南	土田 晃樹	札幌北	小林 彩	女子学院
長野 七海	浦和明の星女子高等学校	佐藤 拓馬	福島県立安積高等学校	和田瑛怜奈		上杉那珠花	札幌南	折坂 輝	藤島高等学校	西野 由	東大寺学園高校
穂積 汰有	東海高等学校	矢嶋 桃子	札幌北	白勢 央樹	岩手県立盛岡第一高校	館田 翼		紙谷 桃歌	旭川東	熊谷 直人	北嶺高校
小林 巧明	北嶺高校	安江 湧亮	名古屋市立向陽高等学校	陣内 良河	駒場東邦高校	伊藤 奏良	滝高校	中川 秀一	県立千葉高校	佐々木里菜	札幌南
西岡 佳子	札幌南	佐藤 建	北嶺高校	関口 陽太	東京都立国分寺高校	内田 有紀	洗足学園高等学校	何翁 裕貴	筑波大学附属駒場高校	西村 健太	
前野 壮太	札幌南	山崎 詩織	岩手県立盛岡第一高校	瀬戸口央倉	愛知高校	田中 雅大	新潟高校	川原 祥徳	札幌南	黒澤 弥音	神奈川県立湘南高等学校
小牧 太地	膳所高校	山下 有情	函館ラサール高校	阿部信乃丞	北嶺高校	井戸 章裕	東京都立西高校	中野 広大	青森県立青森高校	杉本 雪穂	札幌南
橋本 好花	札幌南	塩之入 壮	駒場東邦高校	高木 祐治	南山高校	馬詰 知佐	兵庫県立神戸高校	加藤 隆尚	高槻高校	橋本 幸樹	市立札幌開成中等教育学校
松本 澁生	東大寺学園高校	横井 裕樹		相原 陽菜	札幌南	田沼 侑樹	函館ラサール高校	草薙 彩由		黒沼 晴希	立命館慶祥高校
佐々木 新	札幌南	吉富 智歳	文徳高校	阿部凜太郎	海城高等学校	白井俊太郎	県立静岡高校	中村 優斗	札幌北	館岡 樹怜	札幌南
藤澤 萌	福井県立藤島高等学校	雫石 嶺太	兵庫県立明石北高校	高野 玄	駒場東邦高校	裏岡 千遥	東京学芸大学附属高校	菊地 航平	愛媛県立松山東高等学校	波多野宏丞	聖光学院高校

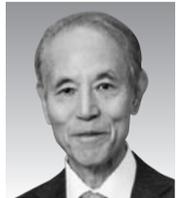
令和3年4月 2年次進級者名簿(5名) ※総合教育部から移行

氏名	出身校	氏名	出身校	氏名	出身校	氏名	出身校	氏名	出身校
美作 匡人		吉田 和生	山形東高校	信田龍之介	水沢高校	蔵 翔子		駒野 仁美	札幌南

令和3年4月 2年次学士編入入学者名簿(5名)

氏名	出身校	氏名	出身校	氏名	出身校	氏名	出身校	氏名	出身校
加藤 北都	東京工業大学	上瀧 浩邦	東京大学	橋本 泰行	東北大学	宮本 裕也	京都大学	峯崎 信究	慶應大学

訃報 名誉教授 長嶋和郎先生(会員2)を偲んで



腫瘍病理学教室 教授 **田中 伸哉**(66期)

長嶋和郎先生が令和3年7月21日にご逝去されました。先生は昭和16年佐渡島に生まれ、群馬大学医学部を卒業、東京大学大学院を修了され、昭和61年2月に留学中のロックフェラー大学から病理学第二講座の教授に就任され、以来19年間務められました。

先生のご専門は神経病理学で、東大で進行性多巣性白質脳症の剖検例から、我国で初めてJCウイルスTokyo-1株を発見しました。その後は診断法の確立、ウイルス受容体・転写機構の研究を行いました。

た。研究費の獲得も多く、戦略的創造研究推進事業(CREST)に採択され(H11)、総額約5億円の研究費を獲得しました。その成果により北海道医師会賞・北海道知事賞、日本病理学会の日本病理学賞(宿題報告)を受賞されました。先生は、生涯で645編に上る学術論文を執筆しておりますが、特筆すべきは70代後半での公的研究資金獲得と、北大退職後の110編以上の論文執筆で、最後の論文は2021年発行です。

北大着任後、最初に65期を教えまし

たが、盟友ビリー・ホール先生との英語の講義、学生と一緒にバンド演奏、ウイスキーコンテスト(利酒大会)と称するクリスマスパーティーを開催し、髭を生かした仮装で場を盛り上げました。学問に対する情熱に溢れ、古いしきたりにとらわれない型破りな姿勢に、多くの学生が共鳴しました。講義前に「早起きロビンス」と称する勉強会を開催して、ポストンベイクでパンとコーヒーを自ら買い求め、多くの学生を教えました。この勉強会は35年後の現在も継続されています。

先生が指導した病理の大学院生は30名以上に上り、門下から全国に14名以上の教授、准教授、研究部長等を輩出しています。臨床各科からも多くの大学院生が集まり、深夜まで研究指導、

議論が盛り上がりました。80年代、教室の図書室の本棚の上にはカラになったボトルが多数並べられている光景を記憶している先生も多いのではないのでしょうか。病理解剖・病理診断にも尽力され、脳腫瘍病理診断のWHO分類や取り扱い規約を執筆しました。門下から23名以上の病理専門医を育成しました。学会活動では、日本神経病理学会理事長(H15~)を務められ、日本脳腫瘍病理学会(H3)、日本神経病理学会(H6)、日本病理学会総会(H16)を主催しました。

先生の生涯に渡る医学研究・教育・病理活動、特に人材の育成にあらためて敬意を表し、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

新世紀の医学に向けて (43)

北海道医療大学 先端研究推進センター

センター長

小林 正伸 (54期)



新型コロナウイルス感染症に対する抗体検査を行って

2020年1月30日にWHOが国際的な緊急事態を宣言しましたが、北海道では2月中旬以降各地で新規感染者が報告されるようになりました。3月には北海道医療大学でも感染対策委員会が組織されるなど、感染対策に向けて準備が進められました。ちょうどその頃、先端研究推進センターを立ち上げ、大学全体の研究の柱となるよう準備を進めていたのですが、PCR検査の体制づくりや文献調査なども独自で始めざるをえなくなったのです。

4月に入って浅学学長から、オーソ社の日本法人から話を聞いてみてくれとの指示がありました。話を聞いてみると、「新型コロナウイルス感染者の抗体検査システムがFDAの緊急使用許可も得ているので、共同研究をお願いしたい」、とのことでした。感染症は専門外でありましたが、認定看護師研修センターを卒業した感染認定看護師が道内病院に多数いることから、病院などでのクラスター発生時に抗体検査で貢献できるのではないかと考え、5月から共同研究をスタートさせました。

1. 新型コロナウイルス抗体産生の特徴

初感染後の1次免疫応答においては、IgM抗体産生からIgGが産生されるまでに1～3週間程度のタイムラグが生じるはずですが、アメリカで行われた臨床試験ではほぼ同時に産生されたというのです。2次免疫応答に近い現象です。

2. クラスター形成が長期化したアカシアハイツでの抗体検査

アカシアハイツでは、4月25日に入所者の感染が判明して以降、27日には24人の感染が確認されるなど、感染が拡大し、最終的には感染者92人、死者17人となる巨大なクラスター形成が認められることになりました。私たちは、6月より抗体検査についてアカシアハイツ現地対策本部と接触を始め、6月17日に職員の抗体検査を行うことができました。PCR陽性9人、PCR陰性19人、未検査17人の職員について抗体検査を行ったところ、PCR陰性であった2人と未検査の1人がIgG抗体、Total抗体共に陽性でした。このことは、隔離されることがなかった職員3人が感染していたことを示しており、PCR検査で隔離され

なかった職員の存在が長期化の一因となっていた可能性を示唆したのです。

3. PCR陽性にもかかわらず、抗体陰性となる例の多発

PCR検査は、水をネガコンとして置き検討するため、偽陽性となることは試料のコンタミ以外にはないとされています。しかしながら、アカシアハイツに続いて勤医協中央病院、千歳第一病院のクラスター形成に伴う抗体検査を行ったところ、合計43例のPCR陽性例中9例(約21%)で抗体を全く認めなかったのです。これらのPCR陽性・抗体陰性例には発熱などの症状のあった人もいましたし、増幅回数を示すCt値が14程度の症例もあり、決してウイルス量が少なかったわけではありませんでした(In Vivo accepted)。こうした症例をどう考えれば良いのか難しいのですが、獲得免疫を動かすことなく自然免疫で排除された可能性を否定しきれませんでした。感染から回復したから安全とは言い切れない事象であり、症例を増やしてメカニズムを明らかにする必要がありますを強く感じました。

4. 抗体の持続時間

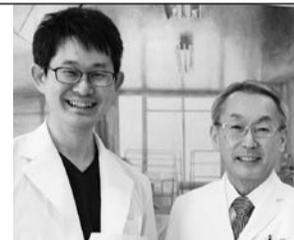
Nature Med.に抗体価が3ヶ月もすると低下するとの報告が出て以来、抗体の持続時間が注目を集めました。私たちも、PCR検査後3ヶ月、5ヶ月、10ヶ月後の抗体価の推移を検討しました(1ヶ月後の血清をコントロールとして)。3ヶ月後では全例IgG抗体価がより上昇していましたが、5ヶ月後には9例中全例でIgG抗体価が低下しており、10ヶ月後でも全例低下していました。1例は陰性となっていました。今後、感染者でもワクチン接種が行われると思われ、ワクチン接種1回後の抗体価が、非感染者の2回接種後と同様に急上昇することを確認したいと考えています。またワクチン接種後の抗体の持続時間も確認したいと考えています。当初の、クラスター形成が見られた病院などでのクラスター収束に役立ちたい、という目的の一部は叶えられたように思いますが、研究としては中途半端な結果に終わってしまいました。今後も可能な限りコロナ克服の一助になればと考えています。

新世紀の医学に向けて (44)

3Dプリンターモデルを用いた遠隔手術トレーニングシステム

北海道大学大学院 医学研究院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室

鈴木 正宣 (81期)、本間 明宏 (65期)



内視鏡下副鼻腔手術は全世界で幅広く行われている標準的な手術ですが、正確な解剖理解や術式を習得しなければ、脳や眼球に重大な合併症を引き起こすことがあります。これまでは国内外で行われているカダバー(ご遺体)を用いたトレーニングコースに参加することで、正確かつ最先端の術式を学ぶことができました。しかし、コロナ禍で国内外の移動が制限された今、現地での集合開催による学習・習得が困難となりました。内視鏡手術は術野をモニターに写して行うため、技術的にはオンライン配信が可能ですが、カダバーを用いた模擬手術の配信は倫理面の問題で不可能でした。

そこで、当科ではこれらの問題を解決すべく豪アデレード大学と共同研究を行いました。まず、最先端の3Dプリンターテクノロジーで鼻副鼻腔の解剖を精巧に再現した3Dプリンターモデルを開発しました。素材、形状、作製・精製方法を厳選することで、鼻副鼻腔の形状だけでなく、皮膚、軟骨、骨の硬度・質感・弾力、粘膜の湿感も再現することに成功しました。

次に、オンライン配信の問題を考えました。カダバーとは異なり3Dモデルには、オンライン配信に関する倫理的制約はありません。ただ、実際に意義のある手術トレーニングを行うために

は、同時進行する複数の内視鏡手術に1人もしくは2人の指導者が目を光らせる必要があります。そこで、米オークランド大学で開発された遠隔医療システムQuinTreeを導入しました。これは通常のPCIにGoogle Chromeの拡張機能として導入でき、最大15人までの内視鏡画面を指導者のモニターに同時に表示することができます。

このように遠隔手術トレーニングの準備が整ったため、2021年2月11日、12日に世界初の“公開模擬トレーニング”を行いました。当科とアデレード大学をオンラインで繋ぎ、内視鏡手術の実践と指導を行い、その様子を“公開実験”として国内外にライブ配信することとしました。このトレーニングの開催情報は瞬く間に広まり、世界11カ国、250名以上が事前視聴登録するなど国内外の耳鼻咽喉科医の間で大きな話題となりました。

当日は、当科医局のカンファレンスルームに模擬手術用ステーションを3台設置し、同じ設備をアデレード大学にも準備しました。まず、北大で3人の日本人医師が3Dモデルを用いた模擬手術を行いました。この3つの内視鏡画面をアデレード大学の1つのモニターに映し出しました。8000km離れたオーストラリアから世界的トップサージャンであるP.J.Wormald教授とA.J.Psaltis教授が手

術の進行状況を随時確認し、リアルタイムに指導を加えていきました(図)。北大で模擬手術が終わった後は、アデレード大で同じ3Dモデルを用い、トップサージャンによる模範手術を供覧しました。その上で、3Dモデルの元となった症例の実際の手術動画も供覧されました。これを計5回、簡単な“症例”から難しい“症例”へと段階的に繰り返すことで、世界最高レベルの手術手技を身につけることができました。翌日には北大病院CAST実施運営委員会の協力により、カダバーで手術手技の習得を確認しましたが、3人の術者は最も難易度の高い前頭洞手術まで完璧に手術を執刀しました。

このシステムは、3Dモデル、手術器具、インターネットさえあれば場所を選ばず何回でも手術トレーニングを行うことができます。また、同様の方法で消化管内視鏡、気管支鏡、腹腔鏡、胸腔鏡、膀胱鏡など内視鏡手術全般に応用が可能です。地球上のどこからでも世界トップサージャンの指導を受けられます。国内外の移動が制限されたコロナ時代における手術教育に最適なソリューションと考えられ、今後、世界的に普及することが期待されます。



(左)北大の耳鼻科医局で3人の若手医師が3Dモデルで内視鏡手術を行っている。(右)豪アデレード大学でWormald教授とPsaltis教授が北大の医局で行われている3人の手術の画像を見ながら技術指導。

北海道大学医学部創立100周年記念事業実行委員会 各小委員会委員長報告



記念式典等小委員会・
広報小委員会委員長

しのほら のぶお
篠原 信雄
(60期)

もうあの忙しかった日々から2年の歳月が流れたんだな、と感慨深く感じる日々です。実際、医学部創立100周年事業は、記念すべき2019年(平成31年)4月に幕をあげ、1. エピローグ(ノーベル賞受賞者 本庶佑先生を招いた特別講演会)、2. 100周年記念館落成式、3. 記念式典・講演会・祝賀会、4. ヒポクラテスの木の記念植樹、の順で挙げてまいりました。その中で、私

は記念式典委員長としてエピローグ(1)と記念式典(2)を担当いたしました。思い返すと、いろいろな思い出、苦労がございましたが、その中で最も印象に残っているのは本庶佑先生をお招きした特別講演会です。記念式典・講演会・祝賀会のほうは1-2年前からある程度準備期間をもって準備していましたので、それほど心配しておりませんでした。しかし、この話は突然もたらされたもので、吉岡研究院長から連絡をいただいた時には耳を疑いましたし、うまくやれるかなと少し心配になりました。本庶先生は前年にノーベル賞を受賞されており、普通はお呼びしたくてもかなわないとされます。それを可

能にしたのが、北大60期で吉岡先生、私と同期の華岡慶一郎先生です。彼のおかげで、奇跡とも思われたノーベル医学・生理学賞受賞者の北海道大学での特別講演(しかも100周年記念事業のさきがけ、エピローグ)が実現したわけです。本当に華岡先生、そして先生のクリニックの皆様へ心から感謝する次第です。

記念式典・講演会・祝賀会も多くの方の御協力のもと、無事とり行うことができました。その中で最も印象に残っているのが、記念祝賀会の最後を飾った田邊達三先生の特別講演「大志BBAに培われて開基100周年」でした。北海道大学医学部開設後、現在にいたる悠

久の歴史を語られ、その土台に立ち、次の100年に向けて我々が目指すべき道につき誠に示唆に富むご講演でした。

このように2019年の1年間は医学部創立100周年で明け暮れたわけですが、翌年2020年2月からはコロナ禍がはじまり、パンデミックの状況となり、現在も大変な日々が続いています。そう考えると、本当に我々はよかった…。たった1年の違いではありますが、医学部創立100周年を無事終えられたのも、これまで北海道大学医学部を創立し、支え、発展させてこられた数多くの先人、そして今を生きる多くの方の御加護があったものと心から感謝する次第です。本当にありがとうございました。



医学部百年記念館
小委員会・
募金活動小委員会
委員長

しのおか みつひろ
吉岡 充弘
(60期)

医学部創立百周年記念事業の柱の一つである「百年記念館」小委員会は、笠原正典元研究科長を中心に平成28年度に設置され、「江田島旧海軍兵学校」をイメージとし、重厚感がある建物として第一案が作成された。この案は、同窓会誌や趣意書にもイメージ図として掲載されることとなった。平成29年度より、研究院長を拝命した吉岡が後

任の委員長として、第5回小委員会(平成29年5月開催)からその任に就いた。この回から、北大マスタープラン実現タスクフォース長の小澤総長補佐(工学研究院)、小篠工学研究院准教授(建築都市部門空間デザイン)が加わった。医学部の委員は、畠山副委員長、白土委員、秋田委員、本間委員、矢部委員とアドバイザーとして浅香同窓会会長をお願いした。その中で、マスタープラン実現タスクフォースから、外観として「江田島旧海軍兵学校」のイメージは百年記念館の単体としては問題ないが、メインストリート沿いに建つこと、医学部管理棟他との建物とのトータルバランスから考えると若干違和感

があるとの意見が述べられた。また、今後のスケジュールの確認が行われ、百年記念館の予算額についてはどのような設計になっても3億6千万円とすることで了承された。その後、小委員会は回を重ねていくなかで、マスタープラン実現タスクフォースから新コンセプト案の提示があり、本学大学院工学院的建築都市空間デザイン専攻の学生によるコンペティションにより、設計案を決定することとなった。学生たちは、北大医学部学友会誌「フラテ」の記事を参照し、これまでの医学部の建物変遷等を紐解き、模型を添えて4つの案を提示してきた。その中で、「江田島旧海軍兵学校」のイメージとは全

く異なる、写真にある木造2階建ての建物案を採用とすることが決定された。建物の内容としては、医学部の歴史資料の展示、講演会、学会、会議、同窓会行事など、多目的に使用できる設備を設置し、建物延べ面積は約800平方メートルとなった。北大メインストリートを飾るレガシーとして有効に活用されることを切に願うものである。



百年記念館の模型



展示品等小委員会
委員長

はたけやま しげつぐ
畠山 鎮次
(66期)

2019年(令和元年)に、北大医学部100周年のさまざまな関連行事が盛大に行われました。本事業において、私は展示品等小委員会の委員長を担当させていただきました。この小委員会は、今回建設されました「北海道大学医学部百年記念館」の中に展示されるさまざまなものに関する計画・選定・配置・展示等に関する担当でありました。展示品は建物と非常に関連しますので、

医学部百年記念館小委員会で吉岡委員長のもと、副委員長も担当させていただきました。医学部百年記念館の建設計画と連動させたかたちで、建物内部に展示されるものの計画を進めることができ、最終的にはたいへんバランスの取れた展示様式になったと思います。一階には寄附者銘板、北海道医学部の歴史、担架にもなるベンチ、二階への階段の壁には歴代医学部長・病院長の肖像写真、二階には歴代の北大医学部のジオラマ(3世代)、医学部百年記念館の設計模型、同窓会関係の発行物等が展示されております。大会議室の机や椅子、会議用設備等も、選定の際には、建物のコンセプトに合うように、幾度

となく検討を重ねてまいりました。計画当初は、北大医学部の歴史的なものを展示する計画を立てておりましたが、各教室からのアンケートでは、それまでの医学部研究棟改修の際に処分され、歴史的なものがほとんど残っていないことがわかりました。そのため、残念ではありましたが、医学部百年記念館に展示室を用意することは断念いたしました。同窓会からの寄附のご支援により、過去100年間の写真を参考に、3世代の北大医学部の建物のジオラマを作製させていただきました。このジオラマ作製にあたり、位置関係や名称の確認等にたいへん苦労を重ねましたが、とても完成度の高いものが出来上がっ

たと思います。

過去100年の歴史を残し、次の100年に向けた設備が完成したと思います。学生をはじめ教職員も現在、コロナ対応を含め大学を取り巻く様々な諸事情や環境変化で苦労しておりますが、本学の教育・研究・診療の将来が明るいものになることを願っております。最後に、今後とも同窓会会員の皆様のご指導とご助言・ご鞭撻をお願い申し上げます。



百周年記念誌
刊行小委員会
委員長

たなか しんや
田中 伸哉
(66期)

当時、吉岡研究院長より、北大医学部100周年記念誌刊行小委員会委員長を拝命しました。果たして自分に務まるのだろうか、身の引き締まる思いでした。記念事業実行委員会でも基本的な編集方針が話し合われました。医学部では50年史、90年史が発行されています。90年からの10年間の記録を発行するという案でもでしたが、100年の歴史全体をわかるものにしよう、写真集を

別途発行するのではなく、写真も加えた形で、事務的な記録としての年史ではなく、皆が何度でも手にとって楽しめる「記念誌」にしようという方針となりました。構成は、100年の歴史、記念事業、各教室の歴史、各期のページ、となりますが、100年の歴史の部分には、各委員が手分けして、「今と昔」シリーズとして医学、医療、北大や札幌の風景などをコラムとしてはさみ込むことで、より親しみやすさを出す工夫がなされました。

「100年の歴史」の前半は、当時の高桑栄松編集長が編纂された50年史をリメイクする形で取り込まれました。50年史では蝦夷地の歴史、アイヌの医療、

北海道の医療の歴史が詳細に記載されている壮大なもので、高桑編集長は、先人の術懐の文章を効果的に取り入れて筆を進めていましたので、その手法を今回も取り入れ、違和感なく100年の歴史を振り返ることができるような構成となっています。各教室の歴史では、懐かしい名誉教授の顔写真を初代から掲載してもらうように依頼しました。100年の歴史の中では、教室の再編・統合などが生じていますが、2019年の時点で医学院に所属する教室に原稿を依頼することとなりました。歴史的には医学部の教室でも、現在は理学院に所属する場合は掲載されていません。各教室の沿革は多種多様であるため、ど

こかで線を引かざるを得ず委員会でも苦渋の決断となりました。また教室の歴史の長さにかかわらず、一律4頁の割り当てとなりましたが、議論を尽くした結果、公平性が優先されたこと、ご理解いただければ幸いです。

第8章の教室の変遷は各教室の歴史が正確に図示されており事務部の力作です。

記念誌は、2021年3月記念事業終了のタイミングで上梓されました。委員会メンバー、執筆者はもとより、各教室・各期の原稿を苦労して集めていただいた研究院長秘書室の皆様、広報室の皆様、発行に際して印刷会社との折衝を行っていただいた事務部の皆様に改めて深謝申し上げます。

100周年記念事業に関する最終報告

同窓会卒業期別寄附状況

2021年7月31日現在

卒業期	全体数	個人		同期会 件数	法人 件数	寄附金額 (単位:円)
		寄附者数	寄附率			
18期	1	0	0%	0	0	0
19期	1	1	100%	0	0	100,000
20期	2	0	0%	0	0	0
21期	2	0	0%	0	0	0
22期	4	0	0%	0	0	0
23期	7	1	14%	0	0	200,000
24期	5	1	20%	0	0	1,000,000
25期	15	3	20%	1	1	1,158,430
26期	6	0	0%	0	0	0
27期	10	4	40%	0	0	620,000
28期	19	9	47%	0	0	2,950,000
29期	21	7	33%	0	0	1,510,000
30期	36	33	92%	1	3	4,500,000
31期	21	3	14%	1	0	945,029
32期	27	6	22%	0	0	325,000
33期	35	7	20%	0	0	3,500,000
34期	45	8	18%	0	0	2,150,000
35期	50	28	56%	0	2	20,700,000
36期	48	11	23%	0	0	3,550,000
37期	56	32	57%	0	0	7,010,000
38期	54	11	20%	0	0	2,120,000
39期	54	21	39%	0	1	9,050,000
40期	53	22	42%	0	1	6,352,000
41期	65	67	103%	1	0	17,450,000
42期	65	43	66%	1	1	5,415,000
43期	53	21	40%	0	2	12,739,583
44期	79	73	92%	1	2	15,250,000
45期	62	16	26%	0	2	5,280,000
46期	79	51	65%	24	0	15,210,000
47期	78	11	14%	0	0	7,700,000
48期	73	20	27%	0	4	23,389,483
49期	92	14	15%	0	1	21,280,000

卒業期	全体数	個人		同期会 件数	法人 件数	寄附金額 (単位:円)
		寄附者数	寄附率			
50期	89	14	16%	0	3	37,500,000
51期	101	14	14%	0	2	6,200,000
52期	86	8	9%	0	2	4,900,000
53期	80	11	14%	0	0	2,250,000
54期	102	13	13%	0	2	8,760,000
55期	108	32	30%	0	2	14,470,000
56期	104	23	22%	0	2	7,070,000
57期	124	31	25%	0	3	8,310,000
58期	96	16	17%	0	4	5,750,000
59期	122	14	11%	0	2	3,170,000
60期	116	48	41%	0	3	10,868,000
61期	100	48	48%	0	4	4,319,000
62期	115	12	10%	0	2	1,770,000
63期	102	15	15%	0	1	3,060,000
64期	114	53	46%	0	1	5,411,352
65期	115	35	30%	0	1	5,020,000
66期	114	27	24%	0	2	5,750,000
67期	106	32	30%	0	1	4,370,000
68期	101	11	11%	0	2	31,040,000
69期	107	15	14%	0	0	2,340,000
70期	94	11	12%	0	0	2,560,000
71期	89	9	10%	0	0	2,220,000
72期	80	13	16%	0	0	1,442,000
73期	82	14	17%	0	0	1,705,000
74期	82	24	29%	0	4	4,260,000
75期	81	13	16%	0	1	2,010,000
76期	74	14	19%	0	1	1,270,000
77期	67	2	3%	0	0	250,000
78期	74	13	18%	0	0	1,650,000
79期	83	9	11%	0	1	1,060,000
80期	85	7	8%	0	0	860,000
81期	63	7	11%	0	1	1,130,000

卒業期	全体数	個人		同期会 件数	法人 件数	寄附金額 (単位:円)
		寄附者数	寄附率			
82期	64	5	8%	0	0	610,000
83期	67	9	13%	0	0	734,000
84期	67	11	16%	0	0	910,000
85期	65	2	3%	0	0	150,000
86期	64	1	2%	0	0	20,000
87期	58	0	0%	0	0	0
88期	58	1	2%	0	0	50,000
89期	78	2	3%	0	0	250,000
90期	66	1	2%	0	0	20,000
91期	94	0	0%	0	0	0
92期	82	2	2%	0	0	110,000
93期	79	1	1%	0	0	20,000
94期	86	1	1%	0	0	10,000
会員(2)	168	40	24%	0	2	14,385,000
専1	0	0	0%	0	0	0
専2	2	0	0%	0	0	0
専3	3	0	0%	0	0	0
専4	1	3	300%	0	0	120,000
専5	12	7	58%	0	0	1,120,000
専6旧	21	2	10%	0	1	800,000
専6新	4	0	0%	0	0	0
専7旧	25	1	4%	0	0	100,000
専7新	15	1	7%	0	0	1,000,000
樺太	1	0	0%	0	0	0
計	5,454	1,222	22.4%	30	70	404,608,877

〈参考〉

医学部創立90周年における同窓会からの寄附状況(2010年3月末)

全体数	寄附者数	寄附率
6,272	1,656	26.4%

※2021年7月31日現在まとめ ※全体数(住所判明者):故人/海外在住者除く(平成30年度同窓会データより) ※個人寄附件数には、同期会としてご寄附いただいた人数も含む

「北海道大学医学部教育・研究・国際交流基金(仮称)」を創設

この度、医学部創立100周年記念事業のもう一つの記念事業として、大学院医学研究院、大学院医学院及び医学部医学科における教育・研究・国際交流の推進を目的とし、「北海道大学医学部教育・研究・国際交流基金(仮称)」を創設することとなりました。

本基金は、「医学部創立100周年記念事業基金」の寄附金合計額から、医学部創立100周年記念事業等に係る支出を差し引いた残額と、1995年に創設された「大学院医学研究院・大学院医学院・医学部医学科国際交流基金」の残額を統合したものととなります。

医学部創立100周年記念事業基金
約9,400万円

国際交流基金
約3,200万円

北海道大学医学部教育・研究・国際交流基金(仮称)
約1億2,600万円

寄附金納入状況

2021年7月31日現在

寄附金合計

556,298,877円

○教員	277件	48,826,000円
○医学部卒業生	829件	253,119,935円
○病院・企業等	190件	181,085,000円
○その他(講座・同門会等)	10件	25,729,483円
○その他(同期会)	30件	16,898,459円
○その他(個人・団体)	119件	30,640,000円



百年記念館

百年記念館展示品(ジオラマ)



100周年記念誌



100周年記念式典

ミッションは「USMLEのハードルを完全撤廃」

い わ み けん た ろ う
岩見 謙太朗(第98期 医学科6年)



98期の岩見謙太朗と申します。
私は2021年2月にUSMLE STEP1に合格いたしました。

USMLE(米国医師免許試験)の受験体験と、北大で自分が行なっているUSMLE普及活動に関して紹介させていただきます。

～USMLEとは～

USMLEは(United States Medical Licensing Examination)の略です。日本語訳すると米国医師免許試験となります。USMLEは全部で3ステップで構成されています(STEP1, 2CK, 2CS, 3)。STEP1, 2CK, 2CSを取得することで米国において臨床を行うことができます。STEP 3は米国でのレジデント時代に取得する人が多いです。STEP1と2CKは国内の試験会場(東京、大阪)で受験することができます。

～USMLEとの出会い～

USMLEの存在を知ったのは浪人時代でした。医学部に入学した後は、キャンパスライフを充実させることに勤んでいました。

学年が上がり、臨床科目の勉強が始まりました。臨床医学を日本語で国家試験のためだけに勉強することに面白みを感じなくなりました。今自分ができる範囲で何か面白いことができないかと考え「せっかくだったら知識を全て英語でアップデートし、アメリカの医師免許も取得してしまおう!」と考えました。

～USMLEの勉強について～

当時、周囲にはUSMLEを目指してい

る同期や先輩が身近におらず、生の情報が全く手に入らない状態でした。国試予備校講師の瀬寄智之先生という方がUSMLE情報をまとめている「USMLE GO」というサイトを見つけました。教材、勉強法、受験方法など綿密に情報が構築されていました。自分は瀬寄先生に直接コンタクトを取り、アドバイスを仰ぎました。

USMLEの勉強は大変長い戦いです。STEP1だけでもオンライン問題集を14000問ほど解く必要があります。思うような結果が出ず、挫折しかけることも何度もありました。USMLEの勉強をする上でもっとも重要な存在は仲間です。孤独な状態でひたすら勉強をこなすことには限界があります。お互いに刺激しあったり支えあうことでモチベーションを保ちゴールに向かって前進します。自分は学外に仲間を見つけ、オンライン上でお互いに進捗を報告しあったりしました。

～USMLEを通じて何か社会貢献できないか～

日々黙々と問題を解いている中、次のような考えが頭に浮かびました。「自分はただひたすら勉強している。しかし自分は社会や世の中のためには1ミリも役に立っていない。自分の勉強は単なる自己満足かもしれない。」と考えました。USMLEは難関な資格ですし、見栄えがするかもしれませんが、しかしながら、USMLEを取得すること自体は社会に全く貢献しません。自分が現段階でUSMLEを通じてできる社会貢献を考えました。その答えは「USMLEに興味がある医学生を合格に導く」でした。

～USMLEをより身近で当たり前のもの～
USMLEに興味がある学生のなかでSTEP1取得にまで到達する学生はわずかです。その原因の多くが情報不足、支え合う仲間がいないからです。USMLEは黙々と努力を続けることで誰でも達成可能な試験です。北大医学部のなかで情報と人材のハブが形成され努力を継続できる環境を整えば、合格者は増えていくと考えました。

具体的な行動として以下のことを実行しました。

- ① 生協北部書店にUSMLEコーナーを設置し、USMLE関連書籍を1か所に集約
- ② USMLE受験までの軌跡をYouTubeで配信(北大の後輩から多くのメッセージや相談が届きました。)
- ③ 2年生の医学英語の授業におけるUSMLE紹介講義
- ④ USMLE対策講演会の開催(医学教育

センター主催で実施)
⑤医学教育センターのホームページにUSMLE合格体験記フォームを開設予定(合格体験記を随時募集中!)

この他にも99期の小松大我君が中心として進めている北大USMLE部の設立もあります。

これらの活動を経て、USMLEの相談をしてくれる同期や後輩が圧倒的に増えました。以前よりも格段に北大医学部生がUSMLEの情報、仲間と接することができるようになり、より多くの学生がUSMLEに挑戦、合格できるようになるのではないかと思います。

～自分のこれから～

自分は在学中にSTEP2CKまで取得するつもりです。将来はまだ日本では主流になっていない予防医学分野を輸入、活性化できれば良いと考えています。



USMLE受験をリアルタイムでYouTube配信

医学部医学科公認サークル紹介シリーズ 第6回

医学起業部 Medical Entrepreneur Training Huddle (METH)

医学科6年 (第98期)	医学科3年 (第101期)
たかくわ まさひろ 高桑 雅弘	おかもと たいき 岡本 大樹

はじめまして。医学起業部 Medical Entrepreneur Training Huddle、通称METH(メス)です。

「医療の未来を斬り拓いていく」という意味を持ち、医療系学生のアントレプレナーシップ(起業家精神)の重要性を広め、養成することを目的に2021年4月に発足しました。顧問にはご自身も医療ベンチャーの運営に取り組みされている細胞生理学教室の大場雄介教授に就いて頂きました。

現在の部員は、患者1人1人が自信をもって医療と関わる世界を作るため「患者が医師の説明を家に持ち帰れるサービス」を開発している学生、食事から人の健康をつくることを目指し医療者の目線から「食事場のデザイン」に取り組む学生などが所属しています。

全国的にも東大・慶応・順天堂大医学部を始めとして、医学教授・医師・医学生・産学連携が一体となって事業を作り、また投資家の方を集め大規模ビジコンを開催するなど、より良い医療を生み出すコミュニティが熱を帯びています。

北大医学部にも熱い思いを持った学生がいますが、今までは各々が孤立している状態でした。たった1人で成功を信じ続けることはとても難しいです。「新しいことに挑戦したい学生」が共通の価値観を持った仲間と繋がることで強く前に進んでいける場所にしたいと考えています。

今後は医学生に加え、医療に興味のある学生を集め、医療関係者の方々にお話を伺い、現在の健康・医療の課題

を考えます。そしてその課題をメンバーで取り組み、新しい事業・サービスを生み出し、医療界にフィードバックする。秋元市長も医療・福祉分野の活性化を公約に掲げられており、このような環境をお借りしながらMETHが活動していくことで、札幌市、北海道全体に少しでも貢献できるのではないかと考えています。

また医学分野のスタートアップ・大学発ベンチャーの方を招いて講演いただ

く勉強会や、他大学の医学系起業部との交流も考えています。

このような場所を実現するためには、医療関係者の方々の貴重なご意見・ご協力が必要です。アドバイザーやメンター、時にスポンサーとして関わってくださる方々を募集しております。METHへのご連絡は<meth.hokui@gmail.com>までお待ちしております。どうぞよろしくお願いいたします。



オンラインミーティングの様子

卓球部

医学科4年(第100期)
前主将 谷口 広樹

北大医学部卓球部は1959年に田代邦雄先生(40期、北海道大学名誉教授)により設立され、今年で創部62年を迎える歴史と伝統のある部活です。部員は現在24人(うち医学科16人、保健学科8人)が在籍しています。活動は北大構内の小体育館で行っており、男女混合で、卓球経験者も大学で始めた部員も分け隔てなく活動しています。

我々卓球部の良さは個々の部員を尊重し、それぞれの部員にあった活動ができるという点だと思います。定期練習は週3回で、そこでは卓球の実力に関係なく全員でそれぞれの課題を克服するための練習を行っています。また、小体育館はほぼ毎日使うことができる

ため、大会で入賞を狙う部員は定期練習以外にも練習を行っています。このようにそれぞれの部員がそれぞれのペースで充実した活動ができているため、雰囲気が温かく、団結力のあるチームになっているように感じます。

昨年度はコロナ禍の影響で大会がすべて中止となり、卓球自体もほとんどできませんでした。そのため、昨年度の新入生とはあまり卓球ができておらず、卒業生は最後に卓球をすることも叶わず卒業してしまいました。しかし、苦しい状況下でもそれぞれの部員が個人練習に励んだり、オンラインで卒業生の追いコンや部員の交流を行ったりなど部活動の良い雰囲気は健在です。

そのおかげか今年度は新入生が続々と入部しており、コロナ禍にもかかわらず卓球部が活気づいているように感じます。

私たち北大医学部卓球部は来年度、2年ぶりの東医体卓球競技の主管を務めることとなりました。コロナ禍により2回中止となってしまった東医体を再び盛り上げるために来年度の大会は非常に

に重要であると考えています。この大きな大会を完遂するため、コロナ後は新入生を加え、より一層団結力を深めていきたいと思っています。さらに、大会運営だけではなく競技としてもよい結果を残せるよう、日々の練習にも精進してまいります。OBOGの先生方にはご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



2019年度 道医体

告知板

<教授就任挨拶>

関西医科大学総合医療センター
整形外科・脊椎神経センター 教授



こほに よしき
小谷 善久(65期)

2021年4月1日付で関西医科大学総合医療センター整形外科・脊椎神経センター教授を拝命いたしました。1989年に北大医学部を卒業し、当時金田清志教授が主宰されておりました整形外科

教室に入局いたしました。大学院では2年間Johns Hopkins大学関連施設で基礎研究に従事し、広い視野で世界に通用する仕事をしていくことの大事さを学ぶことができました。2019年4月から縁あって現在の関西医科大学に赴任しておりますが、北大での経験を生かして診療・教育・研究に精進してまいりたいと存じますので、今後ともご指導、ご鞭撻いただきますようよろしくお願い申し上げます。

<学内・院内人事異動>

<辞職>

2021年6月30日 奥 健志(77期) 内科II講師(北里大学病院准教授)
2021年9月30日 納谷 昌直(73期) 循環器内科講師(北5条通り内科・循環器クリニック)

<採用>

2021年7月1日 長谷川祐太(88期) 検査・輸血部助教
2021年8月1日 藤原 晶(80期) 医療安全管理部助教
山崎 和義(84期) 脳神経外科助教
糸洲 佑介(86期) 麻酔科助教
2021年9月1日 鎌田 壘(会員2) 心不全遠隔医療開発学分野 特任助教
2021年10月1日 浅野 賢道(75期) 消化器外科II助教

<昇任>

2021年7月1日 栗谷 将城(74期) 消化器内科講師(光学医療診療部助教)

<その他>

2021年8月1日 奥 健志(77期) 免疫・代謝内科学教室客員准教授
(北里大学病院膠原病・感染内科准教授)

事務局からお知らせ

同窓会費について

○会費納入のお願い

会員の皆様には、会費納入にご協力いただきありがとうございます。

同窓会の事業は会員の皆様の会費によって運営されています。今後も意義ある同窓会活動を継続していくために、会費納入にご理解とご協力をお願い申し上げます。

○会費納入は次のいずれかの方法によります

- ①口座振替、②コンビニ納入、③銀行振込、

※詳しくは同窓会新聞に同封される払込票をご覧ください。

○会費未納者と刊行物の送付

- ・過年度分未納会費が2年を超える会員には、会員名簿(同窓会誌)をお送りしません。
- ・納入が9月30日を過ぎると、入金確認及び印刷部数確定の都合によりお送りすることができません。

○会費免除者と刊行物の送付

- ・会則により、卒業後55年を経過した会員の会費は、翌年度から免除となります。
- ・41期生は令和3年度から、42期生は令和4年度の会費から免除となりますが、免除前に過年度分2年を超える未納会費があると、会員名簿(同窓会誌)をお送りしません。

会員名簿の処分にお困りの方へ

会員名簿には個人情報に掲載されていますので、ご不要になった名簿は適切な処分をお願いいたします。ご自身で処分が困難な方は、郵便(レターパック等)により同窓会事務局へ送ってください。**なお、恐縮ですが送料は各自**

で負担願います。

○送付先

〒060-8638
札幌市北区北15条西7丁目
北大医学部内
北海道大学医学部同窓会事務局

ドクター総合補償制度のご案内

同窓会では「ドクター総合補償制度」を創設し、現在、500名近い会員が加入して、ご好評をいただいています。

本制度には「医師賠償責任保険(勤務医向け)」、「医療・がん保険」、「所得補償保険」があり、団体割引が適用されるので割安な保険料で加入することができます。

年度途中でも加入出来ますので、同窓会事務局あるいは取扱代理店にお問

い合わせください。

(同窓会事務局)

電話 : 011-706-5007

E-mail : furate@med.hokudai.ac.jp

(取扱代理店) 株式会社第一成和事務所

〒103-8214 東京都中央区日本橋久松町

11-6 日本橋TSビル8F

フリーダイヤル : 0120-100-492

E-mail : seiwa@d-seiwa.co.jp

ご寄付の報告とお願い

同窓会事業支援のため、次のとおりご寄付をいただきました。

令和3年7月8日 専7期旧 宮崎雄二様 金1,000,000円
以上、ご報告申し上げます。誠に有り難うございました。

同窓会では、企業、団体、個人の皆様に、同窓会事業支援のためのご寄付をお願いしております。寄付者のご了承を得て同窓会新聞にご紹介し、10万円以上のご寄付には、楯または額による感謝状を贈呈させていただきます。

ご寄付につきましては、同窓会事務局にご連絡ください。
電話 : 011-706-5007
E-mail : furate@med.hokudai.ac.jp



フラテ108号発行のお知らせ

医学部フラテ編集部

同窓会新聞をご覧の皆様、いつも学友会誌フラテをご購読いただき、誠にありがとうございます。皆様の温かいご支援を賜り、今春に「フラテ107号」を無事発刊することができました。

さて、我々フラテ編集部では、来年3月発行予定の「フラテ108号」の発行準備を進めております。本号では海外で活躍する北大医学部卒業生へのインタビュー他、畠山鎮次先生の医学部長就任インタビューの掲載などを予定しております。COVID-19感染拡大の中で我々も活動が制限されていますが、オンライン化が進んだ今だからこそ出来ることを探しました。100号以上続く学友会誌として、これまで通り先生方のご活躍をお届け

しながら、新しい時代へ変化していく様子を後世に伝えられればと思います。

我々フラテ編集部は、「北大同窓生の茶の間」であるべく、本号もほっと一息ついて頂ける温かい記事を多数ご用意しております。近年は比較的若い先生方からの購読が減少傾向にあります。もし、この文章で少しでも興味を持って頂いた先生がいらっしゃいましたら、是非購読下されば幸いです。

ご購入をご希望の方は、同封の払込用紙またはQRコードからお支払いをお願い致します。電話でのお申し込みは受け付けておりません。ご了承ください。すでに107号巻末の用紙で申し込まれた方は今回申し込む必要はございません。

108号の主な内容 (予定)

- ・ 畠山先生医学部長就任記念インタビュー
- ・ 海外で活躍する北大医学部卒業生へのインタビュー
- ・ 教室日より、各教室の勉強会、説明会一覧
- ・ 新任教授インタビュー
- ・ みどりのベンチ (医療界で活躍する女性へのインタビュー)
- ・ 茶苑

↓ご購入はこちらから



フラテ茶苑 寄稿者募集

フラテ茶苑では、卒業後の先生方からのご寄稿文を掲載しております。期

を問わず、ご自身の専門分野、趣味等をご投稿頂けます。多くの学生が読んでおり、北大出身の先生方の多彩な分野での活躍は学生にとって視野を広げる格好の機会となっております。

様々なバックグラウンドを持つ先生方がフラテ茶苑を通して交流できる、そんなコーナーにしていけたらと思います。今年度も沢山のご寄稿をお待ちしております。

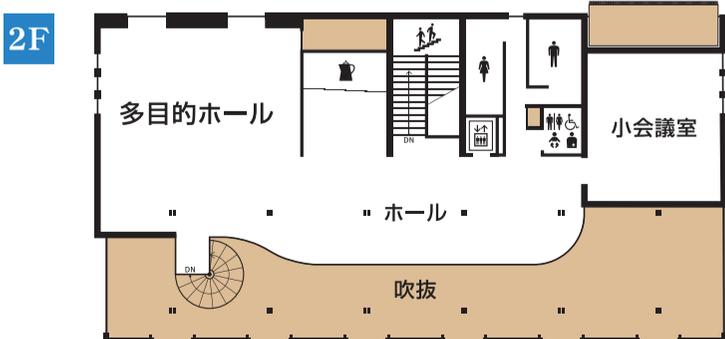
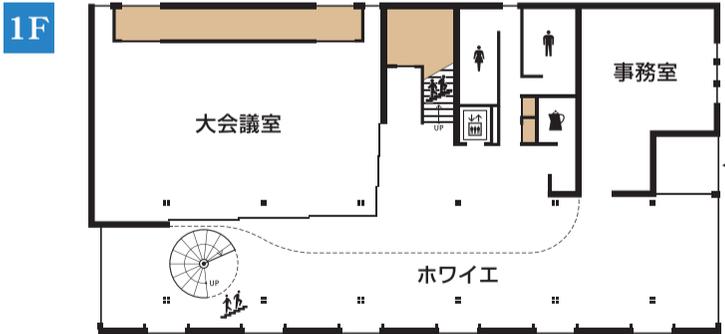
○内容・形式・字数：自由 (専門分野のお話、趣味のお話、最近取り組んでいる事など)

○〆切：2021年11月30日

フラテ編集部
E-mail: frate.med@gmail.com
〒060-8638
札幌市北区北15条西7丁目
北海道大学医学部内

百年記念館の利用について

北海道大学医学部百年記念館は、原則北海道大学医学部及び関係部局が主催する授業及び行事、また、同窓生の交流の場としてご利用いただけます。なお、事前予約が必要のため、ご利用希望の際は下記問合せ先までご連絡願います。



1F 大会議室

[収容人数：54名]

会議やセミナーに利用することを目的として設けました。椅子54脚と会議机27台の他、音響設備、映像設備を備えています。ホワイエとの間は大きな引戸になっており、解放してより大きな空間として利用することができます。

【設備】
椅子／会議用机／電動スクリーン／
液晶プロジェクター (固定) ／
ワイヤレスマイク

2F 多目的ホール

[収容人数：48名]

会議よりもカジュアルでオープンな空間として、椅子48脚の他、大会議室同様、音響設備、映像設備を備えています。映像・音声メディアを活用したディスカッションや発表会に適しています。

【設備】
椅子／電動スクリーン／
液晶プロジェクター (固定) ／
ワイヤレスマイク

2F 小会議室

[収容人数：18名]

小規模な会議やセミナーに供することを目的として設けました。最大18名での会議を行います。木材を主とした建物全体の内装と趣を変え、落ち着いた雰囲気が集まることのできる空間になっています。

【設備】
椅子／会議用机

お問い合わせ先

北海道大学医学系事務部総務課庶務担当
TEL: 011-706-5004 FAX: 011-717-5286
E-mail: shomu@med.hokudai.ac.jp
【受付時間】月曜日～金曜日 (年末年始・祝日を除く) 午前10時15分から午後5時まで

新刊書紹介



「ホスピスのことを大切にしたい」

まえの ひろし
前野 宏(61期)
春陽堂書店 ¥2,200

前野先生は北大卒業後、札幌徳洲会病院で外科を学び、1993年から3年間、淀川キリスト教病院のホスピスで柏木哲夫先生の下に研鑽を積みました。2001年に札幌南青州病院でホスピス医療を開始、今年7月札幌市清田区平岡に病院を移転新築し、ホスピス棟が2つある病院が完成。病院名も札幌南徳洲会病院に変わりました。ホームケアクリニック札幌も隣に移り、包括的な緩和ケアが可能なセンターが誕生。この本は前野先生が20年間取り組んできたホスピスの理念を述べたものです。

「ホスピスのこと」とは、「弱さに仕える心」です。Hospitality、Healing、

Hopeの3つのHから成ります。Healingにはリハビリ、心理療法、音楽療法も入ります。Hopeとはspiritual careであり、MSWや臨床宗教師も活躍します。多くの実例が示され、随所に前野先生のキリスト者の考えも語られ、読んでいて常に目を開かれる思いがします。

私は大学時代、前野先生と同じグループでした。成熟した人生観、確固とした宗教など、同学年とは思えませんでした。学生時代からホスピス医を目指していたのには驚きます。先日、この新しい病院を見学してきました。広く静かで明るく、また多くの工夫が散りばめられ、想像以上の素晴らしさでした。ピアノも3台あり。皆様には本書を一読されるだけでなく、この理想郷のような病院を訪れて欲しいと思います。癒されること請け合いです。

(61期 真部 淳)



「小児白血病の世界」

まなべ あつし
真部 淳(61期)
中外医学社 ¥3,300

同期の真部淳先生が素敵な本を上梓された。小児白血病は過去30年で長足の進歩を遂げ、現代医学が最も貢献した分野である。彼は正にこの進歩を牽引してきた医師である。

本書は、小児白血病研究の歴史から紐解く。1845年のウィルヒョウによる発表から、血液腫瘍としての疾患概念の確立、正常counterpartの存在、染色体異常・遺伝子異常の発見、と基礎医学の進歩に伴ってその本態に一気に迫っていく。そして化学療法の誕生から治療開発の歴史は、欧米の研究者の弛まぬ臨床試験の積み重ねと、そこから抽出された予後因子による層別化である。

その結果、小児急性リンパ性白血病は90%が生存する「治るがん」となった。本邦では1970年代からグループ研究が活発化し、現在ではオールジャパンの小児白血病・リンパ腫研究グループが世界に情報を発信している。一方、一部の難治性白血病は未だ死に至る病でもあり、筆者の目は死に行く子どもたちに向けられる。聖路加病院で看護師、ソーシャルワーカー、心理士とチームを組み、病名告知、Death education、在宅の看取りを実践し、家族支援、きょうだい支援を含めたトータルケア体制を構築する。小児科医ならではの暖かい眼差しである。

最後の章は筆者の個人史であり、イタリア、アメリカ留学時代のエピソード、著名な研究者達との交流、趣味のクラシックの話、等々、筆者の人間の魅力に溢れている。

本書は医学書としても一般の啓発書としても一級品であり、ぜひ一読していただきたい。

(61期 百名伸之)



「新装版 医学探偵 ジョン・スノウ」

すぎもり ひろき
杉森 裕樹(65期)、
おおがみ えいいち
大神 英一(70期)、
ひらお まさ
平尾 磨樹(85期)訳
大修館書店 ¥3,080

Dr. John Snow を描いた英文の原著 (Sandra Hempel著) を、北大医学部同窓会の3名が見事に訳出したのが本書である。

19世紀初頭に、アジアから始まった伝染病がヨーロッパ大陸を横断し何百万人もの人命が失われ、疫病はイギリス中心部に達していた。当時は臭気によってこの感染が起こると広く本気で信じられており、スノウの提唱した「飲料水が感染経路であるという説」は異端扱いされた。コッホによってコレラ菌が発見される遙か以前の話である。

題名の“Medical Detective”とは著者 Hempel女史による新語であり、英語の一般的な言い回しではなく、もちろんこういった職業がある訳でもない。アガサ・クリスティやアーサー・コナン・ドイルを産んだ英国らしい表現ではある。

かつて医薬品医療機器総合機構(PMDA)での医療に関する因果関係評価の仕事内容を英語で説明する際に、偶然にもmedical detectiveという表現を用いたことがあった。

そのPMDAの産業医である杉森裕樹先生が中心となり同産業医であった大神英一先生らと共に訳出した初版は、他の出版社から刊行されていたものの、この度3人目の翻訳者に平尾磨樹先生を迎えて新たに翻訳され、単行本としては異例の他出版社からの再発刊となった。

長引くコロナ禍で先の見えない時代である今こそ読んでほしい良書である。

(64期 渡邊 環)



「帰してはいけない外来患者 第2版」

まつむら しんじ
松村 真司(67期)他編集
医学書院 ¥4,180

2012年に発売された初版は、この患者を帰すと何か悪いことが起こるのではないかと胸騒ぎを言語化し、決断の手助けとなるgeneral ruleをまとめた画期的な内容であった。本書の特徴として一つ一つの項目が短くまとまっており、ちょっとした空き時間、当直の合間などすきま時間に読み進められ、第2版でもそれは踏襲されている。今回は総論部分で、ややもすると難しい用語の羅列になりがちな臨床推論を平易な言葉で解説しているのと、外来で必要な診断エラーの知識についても触れられている。第2章の症候別general ruleでは、全身倦怠感、腹痛といったよ

くある28の症候について、見逃してはいけないred light、帰してはいけない患者の見分け方、これがあれば安心して帰してよいgreen light、そしてまとめのgeneral ruleが見開き2ページにコンパクトにまとまっている。第3章のケースブックでは、専攻医と指導医の外来振り返りの場面を想定したディスカッションと解説、そして最後に肝に銘じらるべきTake home messageの構成で、帰してはいけない47のケースについてまとめている。

帰してはいけなかった外来患者を減らすために、外来診療のトレーニングは必要不可欠である。その意味でこの本を、外来を本格的に始めた専攻医はもちろん、これから外来研修を始めようとする研修医、学生、そして外来研修の指導医にも薦めたい。また、トレーニングを受ける機会がない先生方にとっても、誌上トレーニングができる良書であると確信している。

(79期 川口篤也)



「日本再生のためのプランB」

うへい きょう
兪 炳匡(69期)
集英社新書 ¥1,012

著者の兪先生には2021年5月27日発行の本紙第169号の「海外で活躍する同窓生(30)」に御寄稿いただきました。「米国での医療経済学の修行に25年も要した理由」の中で整形外科の臨床から始めて、ハーバード大学公衆衛生大学

院修士課程、ジョンズホプキンス公衆衛生大学院博士課程、スタンフォード大学、米国疾病管理予防センター(CDC)、ロチェスター大学、カリフォルニア大学を経て昨年2020年に帰国するまでの御活躍が描かれています。

本書では「諸外国の成功例を模倣して成功した大企業が日本の経済成長を牽引する」現行のプランAに疑問を呈した後に、プランBを通じて「地方(日本)から東京(国外)への富の流出を減らし」、「内需拡大」と「将来生き残る産業・業種における安定した雇用創出」、「実質賃金(ないし生活水準)の向上」を目指すことを説いています。プランB

の具体的な処方箋として、3つの政策、1)予防医療教育に関する職種・雇用を大幅に創出、2)新たな雇用は「地方移住促進」の一環として、地方自治体や非営利民間団体(NPO)が行う、3)日本・韓国・台湾を含む北東アジア経済共同団体の創設、を提案しています。以上、「はじめに」に記載された内容ですが、本文で国内外の現状の分析からプランBについて理論的な説明が展開されています。

本書の姉妹書と言うべき「プランB」をもっと知るための10通の手紙(北東亜州出版、¥1,078)では、年代や業種の異なる10人の読者からの質問に答え

る形で「誰に向け、何を、なぜ伝えたいか」を補足します。15年を経て改訂された「改革のための医療経済学」(北東亜州出版、¥1,958)や昨年出版された共著「ポストコロナ期を生きるきみたちへ」(内田樹編集、晶文社、¥1,760)で注目を集める著者のこれからの活躍が期待されます。

(67期 編集委員 樋田泰浩)



北海道医学会からお知らせ

○北海道医学会について

北海道医学会は北海道における医学と医療の進展を図るため、大正12年に発足した学術団体です。現在は、北海道大学、札幌医科大学、旭川医科大学の医師、医学研究者のほか本会の目的に賛同される方々を一般会員として、また道内の主要医療機関には特別会員として、本会に功績のあった方々には名誉会員としてご参加いただいています。

授与（年3名以内に賞状及び副賞：昭和58年から実施）

※ 北海道医学雑誌は大正12年8月の創刊以来、戦中、戦後の一時期を除いて今日に至るまで継続して刊行され、北海道における医学総合雑誌として広く認知されています。

本誌は原著論文、学位論文以外にも、「研究会」「教室だより」などのセクションにおいて会員の様々な活動を紹介しています。

○主な活動内容

- ・機関誌「北海道医学雑誌」の発行（5月、11月：令和3年は第96巻）
- ・学術集会「市民公開シンポジウム」の開催（10月下旬：昭和42年から実施）
- ・若手研究者への「研究奨励賞」の

○会員の状況

（令和2年12月31日現在）

- ・一般会員 606名（年会費 4,000円）
- ・学生会員 7名（年会費 1,000円）
- ・特別会員74団体（年会費 25,000円）
- ・名誉会員 156名

○入会のご案内

本会に入会されていない同窓会員におかれましては、是非ご入会いただきますようご案内申し上げます。医療機関としてのご入会も歓迎します。

なお、会員には機関誌「北海道医学雑誌」を発行の都度お届けいたします。

入会方法は、北海道医学会事務局にお問い合わせください。

・投稿規定、掲載料等は、北海道医学会事務局にお問い合わせください。

○お問い合わせ先

北海道医学会事務局

電話：011-706-5007

E-mail: digakkai@med.hokudai.ac.jp



同窓会費の納入は口座振替で

同窓会費の納入方法は、①口座振替、②コンビニ納入、③銀行振込④口座振替のいずれかです。

特に口座振替は、店頭へ出向く手間が省けます。また、納入忘れがないのでとても便利です。

口座振替を希望する方は、事務局にお申し付けください。手続きに必要な「預金口座振替依頼書」をお送りします。ホームページからもダウンロード出来ます。必要事項を記入の上同窓会事務局へ送ってください。

電話：011-706-5007 E-mail: furate@med.hokudai.ac.jp

同窓会費納入のお願い

同窓会事業は会員の皆様から納入された会費によって運営されています。会費納入にご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

ご逝去者 新聞169号発行以降、ご連絡いただいた方を掲載しております。

御逝去年月日	氏名	期	御逝去年月日	氏名	期
逝去年月日不明	原田 裕朗	32	5月24日	服部 一夫	専6旧
2013年			6月1日	豊田 馨	32
11月16日	根井 昌信	専7新	6月1日	永井 寿昭	32
2020年			6月5日	宮坂 茂男	29
11月8日	高堀 昂	36	6月5日	細川 忍	専7新
12月13日	澤山 豊	31	6月7日	中西 孝美	35
2021年			6月8日	上村 友也	38
1月27日	逸見 英雄	35	6月11日	谷川 淑郎	44
2月18日	宮崎 雄二	専7旧	6月18日	齋藤 克登之	40
3月14日	東海林 茂樹	51	6月20日	阿部 庄作	42
3月15日	神坂 幸次	46	6月23日	多田 武夫	専7新
3月19日	伊東 嘉弘	33	7月2日	後藤 壯一郎	36
4月3日	喜多 健夫	42	7月10日	藤井 義彦	30
4月17日	大村 茂	18	7月14日	幸田 和男	32
4月25日	我喜屋 光	43	7月21日	長嶋 和郎	会員(2)
4月25日	伝住 晋	専7旧	8月1日	坂井 友吉	34
5月15日	伊藤 哲寛	40	8月3日	是永 道子	31
5月18日	宮田 昭一	28	8月14日	村元 富夫	29
5月19日	丹呉 幹彦	33	8月17日	本谷 宣彦	43
5月24日	伊藤 純	専6旧			

同窓会新聞は142号からHP上でご覧いただけます。アドレスは次の通りです。
http://hokudai-med-dousou.com/news/index.htm
会員登録情報の変更は、ホームページ内の「会員データ登録・変更フォーム」より、お手続きいただくことが可能です。
http://hokudai-med-dousou.com/

過年度会費が2年を超える 会費未納者と同窓会誌の発送について

2014年度より、**過年度分未納会費が2年分(1万円)を超える会費未納者**には、会員名簿および同窓会誌の送付を停止することになっております。前号169号にも掲載しておりますが、**本年度の同窓会誌の送付を希望される方には、2021年9月30日までに未納会費の納付をお願いしております。**

期日以降に納付されましても、印刷部数確定のため、今年度の会誌をお届けすることはいたしかねますので、ご了承ください。

●ご注意ください

【令和3年度同窓会誌について】

過年度分未納額が1万円を超えている方の納付期限は2021年9月30日としております。たとえ年度内(2022年3月31日まで)に未納額を納付いただきましても、当年度発行の会誌をお届けすることはできません。

【過年度分の名簿および会誌について】

後日、滞納分を納付されましても、個別発送はいたしません。

一面の写真説明

「いにしへの小川」

蝦名 康彦(66期)

カワセミでも出現しそうな鬱蒼とした緑の小川ですが、北大構内弓道場横の

サクシュコトニ川です。このあたりで擦文文化(10世紀頃)の竪穴住居址の遺構が発見されています。1,000年以上前から変わらぬ人々の営み、絶えることのない水の流れを感じます。

編集後記

先ほど、オリンピックの男子マラソン競技が終了しました。北大病院のコロナ担当副院長としては複雑な気持ちでオリンピックを見ていました。しかし、母校の様子をテレビで見るとは心地良く、この素晴らしい環境を世界中の人々に見ていただいていると思う

と何となく幸せな気分になりました。この後、爆発的に増えるであろう新規感染者数を考えると現実には引き戻されます。今しばらく新型コロナウイルスとの戦いが続くと思いますが、お体に気を付けて診療などに励んでいただければと思います。

(64期 南須原 康行)